

揖斐郡森林組合だより



やまびこ

No.78



2018.7.1 発行: 揖斐郡森林組合
揖斐川町上南方1973番地の370 0585-22-6511



第二十二回 通常総代会開催

去る二月二十二日、揖斐川町地域交流センターにおいて、多数のご来賓のご臨席を賜り、第二十三回通常総代会が開催されました。総代数二百名のうち、本人出席者数百十四名、代理人出席者数二十四名、合計百三十八名のご出席を頂きました。

議長には、池田地区の森紀夫様が選出され、議案の審議が進められました結果、九議案すべて原案どおり承認されましたので、ご報告致します。

ご出席いただきました、総代の皆様にお礼を申し上げますとともに、組合員の皆様のご支援とご協力を頂きましたことに深く感謝申し上げます。

議決事項

◆第一号議案

平成二十九年事業報告、貸借

林・環境税」を活用した搬出を伴わない人工林の間伐は、約百三十四ヘクタールの実施となりました。

又、機関誌やまびこ第七十七号でも紹介させて頂きました、国、県が推進する主伐再造林の取組みとして、揖斐川町の理解のもと、町有林において森林組合の直接雇用者による皆伐・再造林の事業化ができ、現場においては、スギ苗の植栽と共に獣害防止ネットを覆い食害対策を施しました。

施設実施にあたっては、現場従業員一名を採用し、緑の雇用制度を活用して事業の拡大に努めて参りました。そうした結果、平成二十九年の事業総収益は約三億四千万円となり、千二百万円程の経営利益を出す事が出来ましたが、特別損失が発生したため当期剰余金は約百十九万円にとどまりました。

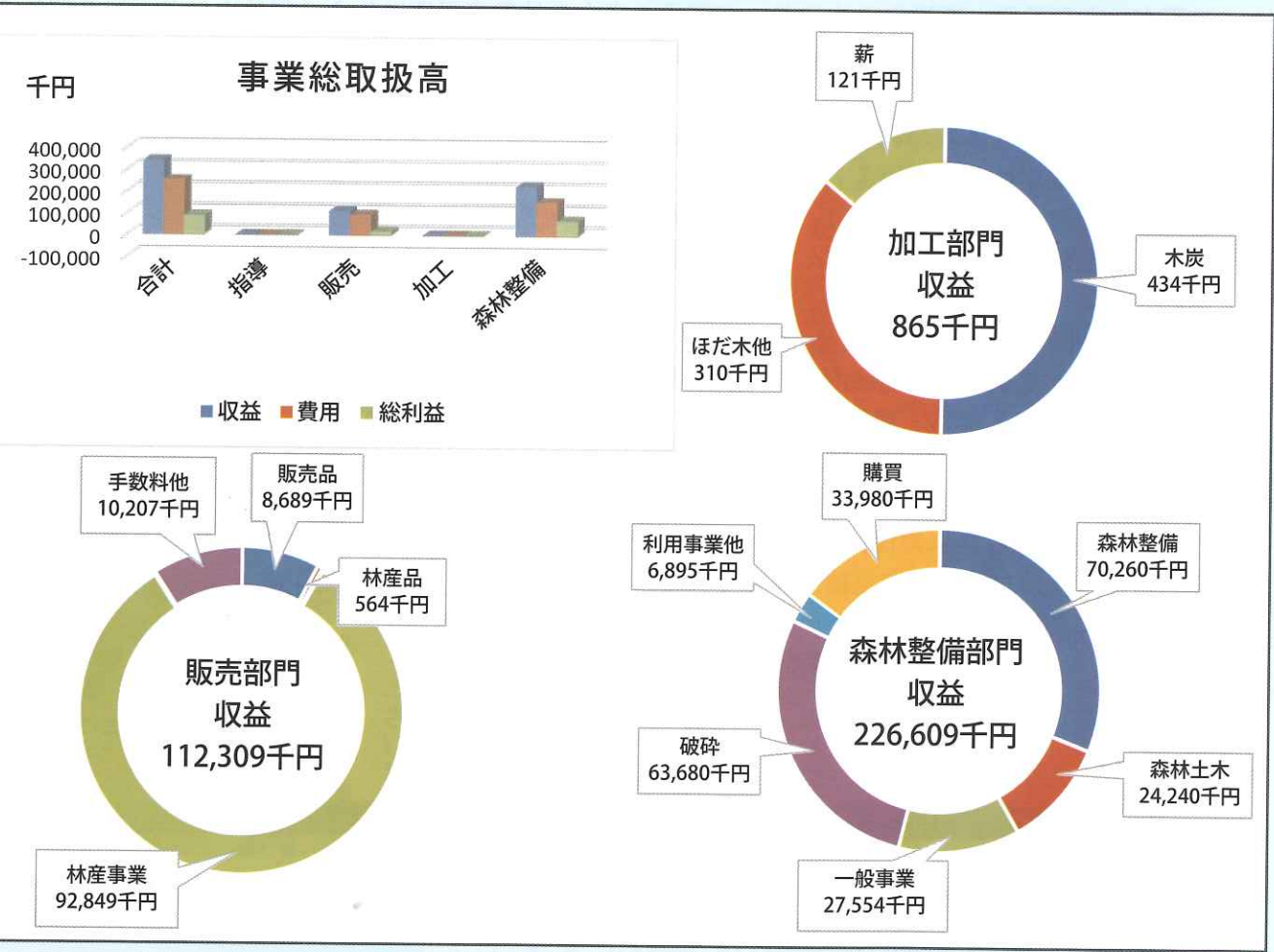
これからも、地域森林の現状に合致した組合事業に取組み、森づくりの中核的な担い手として専門的な立場から施設・木材生産を通して郡内の健全な森林づくりを推進していきますので、組合員の皆様、関係機関の皆様のご理解並びにご協力を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について

◆第二号議案

平成三十年事業計画の設定について



◆第三号議案

平成三十年度借入金最高限度額の決定について

◆第四号議案

平成三十年度余裕金預入先金融機関の決定について

◆第五号議案

平成三十年度一組合員に対する貸付金の最高限度について

◆第六号議案

造林補助金等事務取扱手数料率の決定について

◆第七号議案

定款及び共同施設規程の一部改正について

◆第八号議案

平成三十年度役員報酬の決定について

以上議決されました。

平成二十九年 事業報告

平成二十九年度は、全国的に豪雨災害や台風に見舞われ、各地で被害が多く発生した年でした。特に九州北部豪雨では、古くからの林業地で手入れされたスギ・ヒノキの人工林が、極端な豪雨と「マサ土」質の土壌により、表層崩壊を生じ、樹木が根こそぎ山肌から流出し、下流域に多大な被害をもたらしました。又、十月下旬の台

風二十一号により、管内では倒木も各所に見られ多くの被害を受けました。このようなことから、我々林業者にとっては、災害に強い山づくりの重要性を、改めて認識させられた年となりました。

平成二十九年度の当森林組合は、役員改選が行われ、新組合長のもと新たな気持ちで事業に取り組みました。森林経営計画制度に基づき、組合員を始め森林公社や木曾三川公社、町有林、財産区有林並びに森林整備センターの利用間伐を進めました。事業面積は二百一ヘクタール、材積五千八百八m³を生産することができ、皆伐を含めてほぼ計画量に達し合計で六千七百三十八m³を取り扱うことが出来ました。又、販売部門では計画より七百万円程事業量を伸ばす事が出来ました。

実績のうち組合単独の経営計画地においては、四現場で約四十二ヘクタールの間伐を実施し、千四百m³の材を搬出することが出来ました。施設集約については、春日野原地区及び池田宮地地区において座談会を開催し、又、区有林代表による現状踏査を行い、間伐の必要性について理解を深め経営契約を締結致しました。

森林整備部門では、昨年度から継続された、第二期「清流の国ぎふ森林

個別事業概況

○販売部門

木材については、一・五ヘクタールの町有林の皆伐事業によりスギ・ヒノキ七百五十三m³を生産しました。本年度は、機関造林より発注された事業が多く素材生産業者の応援を得て、生産致しました。一般用材は、いずれもシステム販売により系統出荷し有利販売に努めパルプ用材等は最寄りのいび森林資源活用センターへ販売しました。

林産事業については、計画以上の額を事業化することが出来ました。○加工部門 組合で加工している床下調湿炭については、産直住宅認定戸数が一棟に減りましたが、個人の引き合いがあり昨年より約二百袋増加しました。ほだ木については計画数量の販売が出来ました。

○森林整備部門 昨年度に引続き環境保全林整備事業に取組み、間伐事業の推進を図りました。また、低コスト主伐再造林の普及拡大モデル事業として、谷汲地内の町有林において皆伐後の再造林を行いました。作業道開設については、間伐計画地内において効率的に開設することができ、昨年度の二倍以上の実績となりました。

公共事業減少の影響を受け、破碎事業の取扱いが大幅に低下しました。



今年度の主な取組み



● 施業集約化

平成30年2月15日に締結した「檜原谷地区森林整備推進協定」に基づく檜原谷国有林周辺の森林をはじめ、昨年度末から着工している「林業専用道 日坂・夕日谷線」沿線の森林を各関係機関と連携をはかりながら集約するとともに、「県営林提案型施業モデル事業」へのプロポーザル参加を表明し整備範囲の拡大に努めます。

さらに、昨年度に続き春日野原谷地域での集約化・森林経営計画樹立に加え、他の地域でも新たに6団地の計画樹立を目標に取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

● 作業道開設・利用間伐

現在、久瀬地区・西津汲地内において開設工事中の林業専用道に加え、同地内でさらに2路線を追加開設します。また、谷汲地区においても2路線の新規林業専用道を開設する予定です。

皆様に少しでも多くの利益を還元するために、施工地内の路網密度を高め、本年度新しく導入したプロセッサやその他林業機械を組み合わせた作業システムにより、なお一層の高効率・低コスト作業を目指した搬出間伐に順次取り組んでいきます。



新規導入したプロセッサ

● 森林整備

水源涵養上重要な水源地域内にある、広葉樹伐採跡地において分収造林を推進します。また、引き続き「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、搬出間伐を行えない地域での間伐、里山林の整備を行っていきます。

さらに裏山や庭に植えた木が大きくなり過ぎ、将来家屋に被害を与える恐れのある樹木の伐採も行います。お困りの方は、ご連絡いただければ現地を確認し御見積りさせていただきます。

お気軽にお問い合わせください。

(揖斐郡森林組合 業務課 0585-22-6511)



高所作業車を使用した枝払いの様子

組合員名義変更（相続・譲渡）による届出についてのごお願い

- 1. 死亡による相続
- 2. 譲渡
- 3. 記載事項（住所変更等）

以上に該当する変更が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要になります。

円滑な組合運営の為に、組合員台帳の整理にご協力いただきたく、お手数ではございますが当組合までご連絡を御願い致します。

(揖斐郡森林組合 総務課 0585-22-6511)



©岐阜県 清流の国ぎふ・ミナモト #0193

ウェブサイトリニューアルのお知らせ

このたび、揖斐郡森林組合のウェブサイトがリニューアルしましたのでお知らせします。当組合の最新の活動内容や行事予定を、随時お知らせしていきたいと思っております。スマートフォンも対応していますので、是非一度ご覧下さい。

<http://www.ibishin.org/>



去る二月十五日（木）揖斐川町町地域交流センターはなももにて、檜原谷地区森林整備推進協定締結式が開催されました。この協定は、揖斐川町檜原谷地区で民有林と国有林が連携・協力して効率的な森林整備に取組み、森林の多面的機能を持続的に発揮させ、生産性の向上や林業事業者の育成・強化、木材の安定供給等を推進し、檜原谷地区ひいては揖斐郡全域における森林・林業・木材産業の活性化に資することを目的としています。

当組合も地域が安全、安心できる様子を期待し、役立てるよう努力していきたいと考えています。

檜原谷地区森林整備推進協定締結式

しいたけ菌打ち体験

去る二月三日（土）池田町中央公民館、二月十九日（月）大野町立北小学校において、しいたけ菌打ち体験が開催され、お手伝いさせて頂きました。始めに、しいたけの性質、原木伐採方法、菌打ちの仕方、管理等の説明をしました。その後参加者の方達で原木にドリルで穴を開け、金づちでしいたけのコマ菌を打ち込んでもらいました。皆さん一つ一つ丁寧に作業をしていただきました。

来年の秋にはとてもおいしいしいたけが誕生する事でしょう。



親子木工体験

去る四月二十八日（土）、JAFエスティバル大野会場にて、親子木工体験を実施しました。今回は、二種類のイスを作ってもらいました。小さなお子様もお父さん、お母さんと一緒に一生懸命イスを作っていました。途中釘が曲がってしまいましたが、最後まで作ることができ喜んで下さいました。間伐材を使用したイスで香りが良く、好評でした。今回用意させていただいたイスは、昼すぎに完売することができました。ご来場頂きました皆様、ありがとうございました。

今回の木工体験もお子様はもちろん、大人の方にも楽しんで頂ける趣向を凝らしたと考えています。



鳥獣防護柵のご案内

イノシシ、シカ、サルによる農作物への被害は、岐阜県内だけで年間約2億8千万円（平成28年度）と言われています。

農作物を野生鳥獣から守るための対策として、当組合で取扱っている鳥獣防護柵の一例をご紹介します。



©岐阜県 清流の国ぎふ・ミナモト #0193

GKメッシュ シカ・イノシシ柵タイプ標準型
H2000×W2117
(材質：JIS G3547 SWMGGH-3)
(材質：亜鉛メッキ鉄線)
その他監視用カメラや捕獲用の箱罠、くくり罠も取扱っております。
ご興味がある方や、見積りがほしい方は、是非一度お問い合わせください。

(揖斐郡森林組合 総務課 0585-22-6511)



購買情報

携帯防虫器

918円



パワー森林香
30巻入
1,231円



※揖斐郡産の広葉樹です。

木炭 10kg入り

雑木 2,500円 樫 3,000円

ヒル避けスプレー
ヒルよらん



400ml入

2,376円

100ml入

810円

※購買情報の価格はすべて税込にて表示しております。



鳥獣丸は取り寄せになります。
納期、価格等についてはその
都度、お問い合わせください。

販売材積 2,800㎡ 買方 20名

樹種	長さ	径級	平均値	高値	気配
すぎ	3.0	13下	5,300円	-	→
		14	8,800	-	→
		16~18	12,500	-	→
		20上	11,500	-	→
	4.0	13下	7,000	-	→
		14	8,800	-	→
		16~18	11,700	-	→
		20~22	13,800	-	→
		24~28	12,800	-	→
	6.0	30上	12,200	20,600	→
16~18		13,500	-	→	
ひのき	3.0	20上	12,000	-	→
		13下	8,000	-	→
		14	14,000	-	→
		16~18	17,500	-	→
	4.0	20上	15,800	-	→
		13下	9,000	-	→
		14	11,500	-	→
		16~22	17,500	-	→
		24~28	14,500	-	→
	6.0	30上	15,000	115,000	→
6.0	16~18	23,000	-	→	

右記単価は直材価格・平均値は一番並材価格

※パルプ直送システム販売含む

概況

定期市を開催。スギ良材中心の活気ある市となった。
出荷者各位には、厚く御礼申し上げます。

システム販売 月間需要量

スギ	3m	柱用素材	16~24cm	1,000㎡
	4m	森の合板工場用素材	18~42cm	2,000㎡
ヒノキ	3m	柱用素材	16~22cm	300㎡
	4m	土台用素材	14~24cm	300㎡
	4m	合板用素材	18~	1,000㎡

市況

水が上がりはじめ、スギ・ヒノキ良材は弱含み。樹皮の剥離した良材、構造材向け丸太は売りづらいで、留意ください。
スギの並材太物（50上~）3m需要ありますので伐採を予定される場合は共販所担当者まで、一報ください。
ヒノキ2m元曲がりは売りづらく、合板向けの造材（袴無、矢高5cm以内）が有利。
製紙パルプ向け針葉樹2m、3m、4m、かなり不足しております。
製紙パルプ向け針葉樹、岐阜共販所トラックスケール（関市倉知地内）も受付しております。
製紙パルプ向け広葉樹原木、納材規格変更となっております。予定される方は共販所担当者まで、一報ください。
造材は、合板用も含め、元株の処理・余尺及び段切り・斜め切り等のないよう、基本作業の確認をお願いします。並材の余尺は0.10m~0.15mでお願いします。
害虫が発生する季節となりました。元伐後、速やかな納材をお願いします。

平成30年 5月22日

関市倉知字物見山4660-16
岐阜林産物共販所
Tel 0575-24-6077
Fax 0575-22-2956

第一六五七回 県森連岐阜共販所市況速報